

緑農政だより 第8号

名古屋市農業委員会緑農政係 平成22年10月 500部発行

緑区役所内 TEL 6 2 5 - 3 9 3 2

FAX 6 2 3 - 8 1 9 1

認定農業者^{*} 花き農家の



大島 健さんを訪ねました。

現在はシンビジウムを出荷している大島さんですが、35年ほど前に花きを始めた時は、カトレアを手がけていました。「ミラクルホワイト」というオリジナルのカトレアも開発するほどでした。しかし、カトレアよりもシンビジウムのほうがお歳暮に使われるなど日本人のニーズにあっていると考え、30年前から徐々にシンビジウムに切り替えました。

シンビジウムが

避暑をする??

需要の多い12月にシンビジウムを開花させるには、名古屋の夏は暑すぎます。そこで毎年年末に出荷を控えた3年生の株たちを涼しい高原へつれて行き避暑をさせているとのこと。今年も6月末に稲武の段戸山高原(標高900メートル)へトラックで2時間かけて運びました。名古屋が秋の気配に包まれる10月中旬ごろ再び自宅横の農園へ運びこみ12月の出荷を待ちます。



デンファレ

「大きくて立派な物を作るよりも、手ごろな価格のものを作ることによって多くの人に花のある生活楽しんでもらいたい」と考え、テーブルの上に置けるようなサイズを始め、種類と数の多さにこだわっています。



大島 健さん

より多くの方にシンビジウムに親しんでいただきたいです。

大島さんの農園では、特に宣伝はしていませんが、直売にも応じているそうです。11月下旬から1月末頃まで自宅隣りの温室にて直売もしています。市バス「鳴海東部小学校」バス停北へ100m自宅隣りの温室にて。



デンファレ



乗鞍二丁目の温室

* 認定農業者とは…

農業経営基盤強化促進法に基づき、農業経営の改善に積極的に取り組んでいる意欲的な農家を認定する制度です。名古屋市が認定しています。

シンビジウム



大島 智さん

オランダで1年間研修して経営、流通、販売などの農業ビジネスを学びました。これからも時代にあったものを作って、仕事に生かしていきたいです。

名古屋の農業に関する様々な情報を発信しています。

『なごや農あうネット (<http://www.nga.or.jp/nouau-net/>)』もあわせてご覧ください。

*このリーフレットは再生紙を使用しています。